

# **YASKAWA** 安川情報システム株式会社

福岡県北九州市八幡西区東王子町5番15号 〒806-0037  
TEL.093-622-6111 (代) FAX.093-622-6121

YASKAWA INFORMATION SYSTEMS Corporation  
5-15, Higashioji, Yahatanishi-ku, Kitakyushu, Fukuoka 806-0037, JAPAN  
PHONE. +81-93-622-6111 FAX. +81-93-622-6121



## 株主のみなさまへ 2018年2月期 vol.29

2017年9月 第2四半期

2017年3月21日～2017年9月20日



- 当第2四半期連結累計期間における情報サービス業界では、あらゆる産業においてクラウドやビッグデータ、IoT、AI等の技術のビジネス活用拡大やサイバー攻撃に対応したセキュリティ対策等、IT投資は徐々に増加してきております。
- 当社グループでは、中期経営計画「Challenge for Excellence」の中間年として、構造改革を継続し、IoTビジネス、サービス・ビジネスを成長の柱として受注拡大を図り、将来への成長基盤固めに努めております。
- 当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期に比べ減益となりましたが、故障予知サービス等の新製品提供や先端AI技術を駆使した製品開発等の施策は順調に推移しており、営業利益、経常利益ともに目標を上回ることができました。
- 中間配当金につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。

(単位：百万円)

| 科 目                   | 2017年第2四半期 | 2016年第2四半期 | 2017年3月期 |
|-----------------------|------------|------------|----------|
| 受注高                   | 8,047      | 7,337      | 13,261   |
| 売上高                   | 6,568      | 6,589      | 13,421   |
| 営業利益                  | 187        | 408        | 878      |
| 経常利益                  | 189        | 406        | 876      |
| 親会社株主に帰属する四半期・当期純利益   | 94         | 220        | 711      |
| 1株当たり四半期・当期純利益：円      | 5.25       | 12.28      | 39.51    |
| 純資産額                  | 1,467      | 576        | 1,355    |
| 総資産額                  | 7,933      | 6,503      | 7,538    |
| 1株当たり純資産額：円           | 77.10      | 31.29      | 74.72    |
| 自己資本比率：％              | 17.5       | 8.7        | 17.8     |
| 自己資本四半期・当期純利益率(ROE)：％ | 6.9        | 53.5       | 88.4     |

## 目次

|                 |   |                |    |
|-----------------|---|----------------|----|
| ごあいさつ……………      | 1 | トピックス……………     | 8  |
| 過去5カ年の業績推移…………… | 2 | 四半期連結決算報告…………… | 9  |
| 事業区分の変更……………    | 4 | 会社プロフィール……………  | 12 |
| 事業別の概況……………     | 6 | 株主情報……………      | 13 |
| 技術のご紹介……………     | 7 |                |    |



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度の九州北部豪雨で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、2017年度の国内景気は企業収益や雇用環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となっています。また、当社グループの属する情報サービス業界においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AI、情報セキュリティ分野をはじめとした新たな技術分野にも注目が集まっており、今後も戦略的なIT投資が増えていくことが期待されます。

そのような中、2017年度第2四半期の当社業績につきましては、期初計画に対して売上高が95%となり下回る結果となったものの、経常利益は126%と期初計画を上回る結果となりました。当社が注力しているIoT事業においては、まだほとんどがPoC (Proof of Concept) 段階にしろ、商談が活発になってきており、これらを来期以降の受注につなげ、事業拡大を図ってまいります。

技術革新が急速に進んでいる市場に乗り遅れることなく、2016年度からスタートした中期経営計画「Challenge for Excellence」の達成を目指し、技術力・生産力・営業力の継続的進化及び注力事業の展開を加速し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

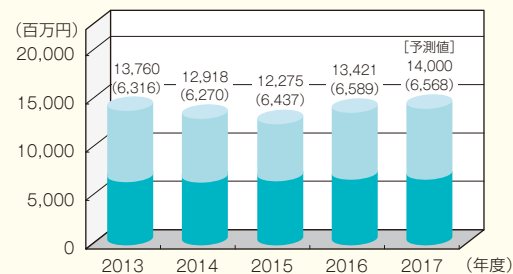
代表取締役社長

諸星俊男

# 過去5力年の業績推移

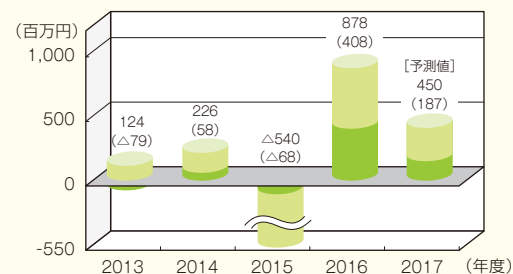
## 売上高

売上高  
(うち第2四半期累計)



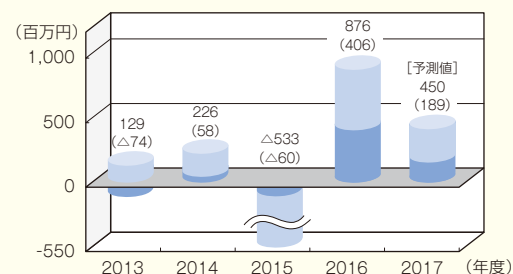
## 営業損益

営業損益  
(うち第2四半期累計)



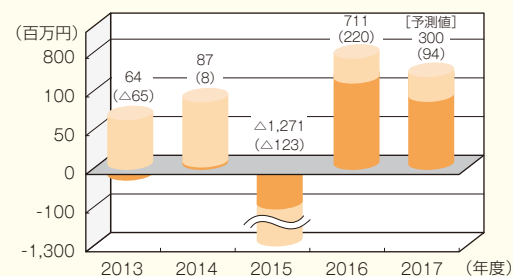
## 経常損益

経常損益  
(うち第2四半期累計)



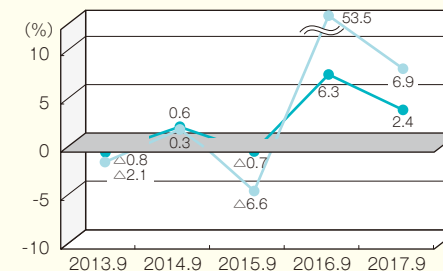
## 親会社株主に帰属する 当期純損益

親会社株主に帰属する当期純損益  
(うち第2四半期累計)



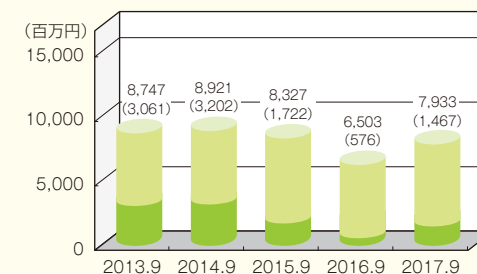
## 収益性

自己資本四半期純利益率  
総資本経常利益率



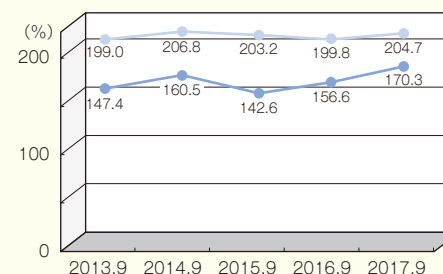
## 資産状況

総資産  
(うち純資産)



## 安定性 (流動比率・当座比率)

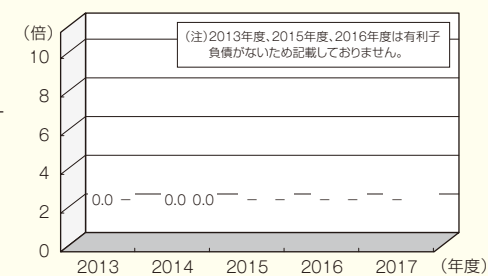
流動比率  
当座比率



## キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (倍)

有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー

第2四半期 年度



# 事業区分の変更

当社は 2016 年度から 2018 年度までの中期経営計画「Challenge for Excellence」により事業区分の見直しを実施、事業の選択と集中を行うことで更なる企業成長の基盤作りを図りました。

医療公益事業の縮小、情報セキュリティ分野と組込制御分野を統合し、IoT ソリューション事業として事業の拡大を図っていきます。

## 2016 年度以前の事業区分

- ◆ ビジネス・ソリューション事業
- ◆ 組込制御ソリューション事業
- ◆ 医療・公益ソリューション事業



## 新しい事業区分

- ◆ IoT ソリューション事業
- ◆ ビジネスソリューション事業

## 新しい事業区分のご紹介



### IoTソリューション事業

クラウドサービスから通信機器まで、IoTでお客様の業務効率化を支援。AIを活用したデータ分析技術でお客様に新たな価値を創造します。

- スマートファクトリー  
工場設備のIoT化、AI分析、次世代MESを中心とした製品群で Industrie 4.0 (スマートファクトリー) の実現を支援。
- IoT/M2Mソリューション  
IoTの実現に必要な、通信機器・回線・データ蓄積・分析など全ての要素をワンストップで提供。お客様のビジネス変革をトータルにサポート。
- AI・ビッグデータ分析  
データサイエンティストが独自のAI技術を駆使し、お客様の製品・製造に対して最適化・効率化を強力に支援。
- 医療機器メーカー向けシステム開発
- 倉庫物流システム
- 製品組込開発
- 学校 ICT ソリューション



### ビジネスソリューション事業

ERP を中心とした業務システム構築、運用、保守の豊富な実績を活かし、ICT による新たな価値創造でお客様の経営強化を支援します。

- ERP(SAP ほか)／グローバル展開支援  
豊富な実績で培われた技術・知見・ノウハウを活用し、お客様に最適なシステム導入・移行を短期間で実現。
- 顧客業務システム
- 健康保険システムの構築
- システムコンサルティング
- 運用支援・保守
  - 認定コンサルタントによる、プロフェッショナル・サポートをご提供。
  - サポート分析から業務効率向上提案の提供。
  - 多言語対応でグローバル展開を支援。





## 事業別の概況

(単位：百万円)

| 事業            | 2017年9月第2四半期 | 2016年9月第2四半期 | 2017年3月期 |
|---------------|--------------|--------------|----------|
| IoTソリューション事業  | 2,359        | 3,085        | 6,532    |
| ビジネスソリューション事業 | 4,208        | 3,503        | 6,888    |
| 連結売上高合計       | 6,568        | 6,589        | 13,421   |

### IoTソリューション事業

当事業では、インターネット・セキュリティ関連製品は堅調に推移しましたが、安川情報エンベデッド株式会社の売却に伴う減少に加え、医療機器向けソフト開発、倉庫物流や生産ライン管理等のFAシステム構築については前年同期に比べ減少しました。

その結果、売上高は23億59百万円(対前年同四半期比23.5%減)となりました。

### ビジネスソリューション事業

当事業では、健康保険者向けシステム構築は前年同期に比べ減少しましたが、安川電機グループのIT投資、移動体通信事業者向け開発は増加しました。また、自治体向け学校ICT環境設備更新の大口案件もありました。

その結果、売上高は42億8百万円(対前年同四半期比20.1%増)となりました。

## 技術のご紹介

### 当社のAI「Paradigm(パラダイム)」

当社では、2009年に物流系のシステム開発案件の最適経路生成に統計学(OR: Operations Research)を適用したのを皮切りに、電力需要予測などを経て、AIの技術開発に注力しています。当社のAI「Paradigm」はFAなどのエンジニアリング系に特化しており、コールセンタなど業務系を得意とする大手ITベンダのAIとは大きく異なります。その中でも故障予知/異常検知/熟練者ノウハウ継承を柱に差別化を図っています。

それでは、当社のAI「Paradigm」の特長を紹介します。

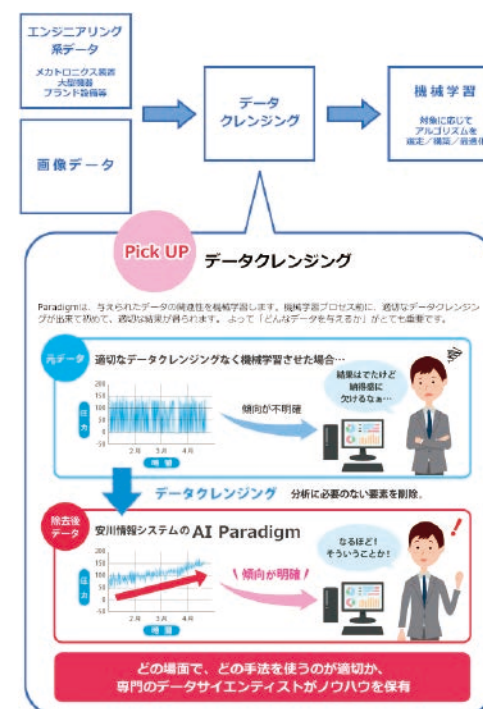


### ① 名前の由来

- **P**redict(予測)
- **A**nalyze(分析)
- **R**obotics(ロボット工学)
- **A**rtificial intelligence(AI)
- **D**ecision making(意思決定)
- **I**mage processing(画像処理)
- **G**lobal(世界に向けた)
- **M**achine learning(機械学習)

の頭文字をとったもので、多彩な保有技術をベースにしたAI技術で人の行動変化を促し、既存の価値観を変えたいという思いを込めています。

### ② 構成要素



この当社のAI「Paradigm」により、お客様の毎日に新しい価値を提供し、事業の拡大に努めてまいります。

## 「2017年日台ビジネスサービス交流会 AI人工知能応用検討会」に登壇

台湾で行われた「2017年日台ビジネスサービス交流会 AI人工知能応用検討会」に登壇し、当社のAI技術やAIを活用したソリューションについての講演を行いました。

「2017年日台ビジネスサービス交流会 AI人工知能応用検討会」は日本企業と台湾企業のマッチングイベントで、日本の経済産業省にあたる台湾経済部工業局が主催、Institute of Information Industry (III) が後援しています。ITサービス分野における日本企業と台湾企業の交流により、台湾への先進技術の導入を促進することを目的としています。

当日、会場に集まった台湾のSI企業、製造業などのユーザ企業、政府機関など約60名の方に向け、AI技術を活用した故障予知サービス「MMPredict」などを紹介しました。講演後は参加者から幾つもの質問をいた

だくなど、製造業が盛んな台湾におけるIoTやAIへの関心度の高さを強く感じました。



## 台湾桃園市訪日団との意見交換会を実施

当社（東京本社）へ台湾桃園市政府の訪日団が来社され、IoTに関する意見交換会を行いました。桃園市は台湾政府が掲げる「アジア・シリコンバレー計画」の推進都市であり、その主な取組みの1つに「IoT関連ソリューションにかかわるソフト・ハード両面でのサプライチェーン構築」があります。

今回、桃園市は日台での産業連携によるIoT関連のイノベーション加速を図るため、情報収集・意見交換を目的に来日されています。早くからIoTに取り組んでおり、豊富なラインアップを有する当社を見学先として選定いただき、お越しいただきました。

当日は桃園市をご紹介いただいた後、当社IoTソリューションのご紹介、IoTクラウドサービス「MMCloud」のデモを見学いただきました。デモ見学

では、積極的にご質問をいただき、当社IoTへの関心度の高さを実感しました。



(四半期連結貸借対照表)

## ■ 四半期連結貸借対照表 (平成29年9月20日現在)

| (単位：百万円)  |       |
|-----------|-------|
| 資産の部      | 金額    |
| 流動資産      | 6,450 |
| 現金及び預金    | 2,346 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,020 |
| 商品及び製品    | 32    |
| 仕掛品       | 658   |
| 原材料及び貯蔵品  | 16    |
| その他       | 376   |
| 貸倒引当金     | △0    |
| 固定資産      | 1,483 |
| 有形固定資産    | 689   |
| 無形固定資産    | 502   |
| 投資その他の資産  | 292   |
| 資産合計      | 7,933 |

| (単位：百万円)     |        |
|--------------|--------|
| 負債の部         | 金額     |
| 流動負債         | 3,151  |
| 支払手形及び買掛金    | 1,315  |
| 未払金          | 51     |
| 未払費用         | 1,117  |
| 未払法人税等       | 91     |
| 役員賞与引当金      | 4      |
| その他          | 571    |
| 固定負債         | 3,314  |
| 役員退職慰労引当金    | 12     |
| 退職給付に係る負債    | 3,024  |
| その他          | 278    |
| 負債合計         | 6,466  |
| 純資産の部        | 金額     |
| 株主資本         | 2,426  |
| 資本金          | 665    |
| 資本剰余金        | 319    |
| 利益剰余金        | 1,441  |
| 自己株式         | △0     |
| その他の包括利益累計額  | △1,038 |
| その他有価証券評価差額金 | 12     |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,050 |
| 新株予約権        | 68     |
| 非支配株主持分      | 10     |
| 純資産合計        | 1,467  |
| 負債純資産合計      | 7,933  |

# 四半期連結決算報告

(四半期連結損益計算書・四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

## ■ 四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)

| (単位：百万円)   |       | (単位：百万円)         |     |
|------------|-------|------------------|-----|
|            | 金 額   |                  | 金 額 |
| 売上高        | 6,568 | 特別利益             |     |
| 売上原価       | 4,873 | 固定資産売却益          | 1   |
| 売上総利益      | 1,694 | 特別利益合計           | 1   |
| 販売費及び一般管理費 | 1,507 | 特別損失             |     |
| 営業利益       | 187   | 固定資産除却損          | 0   |
| 営業外収益      |       | 特別損失合計           | 0   |
| 受取利息       | 0     | 税金等調整前四半期純利益     | 191 |
| 受取配当金      | 0     | 法人税、住民税及び事業税     | 63  |
| 仕入割引       | 1     | 法人税等調整額          | 31  |
| その他        | 0     | 法人税等合計           | 94  |
| 営業外収益合計    | 2     | 四半期純利益           | 96  |
| 営業外費用      |       | 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1   |
| 支払利息       | 0     | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 94  |
| 売上債権売却損    | 0     |                  |     |
| 為替差損       | 0     |                  |     |
| その他        | 0     |                  |     |
| 営業外費用合計    | 0     |                  |     |
| 経常利益       | 189   |                  |     |

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)

| (単位：百万円)            |       | (単位：百万円)            |       |
|---------------------|-------|---------------------|-------|
|                     | 金 額   |                     | 金 額   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    |       | 投資活動によるキャッシュ・フロー    |       |
| 税金等調整前四半期純利益        | 191   | 有形固定資産の取得による支出      | △23   |
| 減価償却費               | 87    | 無形固定資産の取得による支出      | △107  |
| 株式報酬費用              | 71    | 無形固定資産の売却による収入      | 1     |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少)     | △0    | その他                 | 19    |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少)   | 0     | 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △109  |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 118   | 財務活動によるキャッシュ・フロー    |       |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 1     | 株式の発行による収入          | 0     |
| 受取利息及び受取配当金         | △0    | 配当金の支払額             | △89   |
| 支払利息                | 0     | 非支配株主への配当金の支払額      | △1    |
| 固定資産除却損             | 0     | 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △91   |
| 固定資産売却損益(△は益)       | △1    | 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 803   |
| 売上債権の増減額(△は増加)      | 419   | 現金及び現金同等物の期首残高      | 1,542 |
| たな卸資産の増減額(△は増加)     | △130  | 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 2,346 |
| 仕入債務の増減額(△は減少)      | 162   |                     |       |
| 未払金の増減額(△は減少)       | △32   |                     |       |
| 未払費用の増減額(△は減少)      | △59   |                     |       |
| その他                 | 288   |                     |       |
| 小計                  | 1,116 |                     |       |
| 利息及び配当金の受取額         | 0     |                     |       |
| 利息の支払額              | △0    |                     |       |
| 法人税等の支払額            | △112  |                     |       |
| 法人税等の還付額            | 0     |                     |       |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 1,005 |                     |       |

# 会社プロフィール

## 会社概要 (2017年9月20日現在)

商号 : 安川情報システム株式会社  
 本社所在地 : 福岡県北九州市八幡西区  
 東王子町5番15号 〒806-0037  
 設立年月日 : 1978年2月1日  
 資本金 : 665百万円  
 従業員数 : 510名  
 主な事業 : IoTソリューション事業  
 ビジネスソリューション事業  
 連結子会社 : 株式会社 安川情報九州

## 役員 (2017年9月20日現在)

|          |           |
|----------|-----------|
| 代表取締役社長  | 諸 星 俊 男   |
| 取締役 執行役員 | 久 野 弘 道   |
| 社外取締役    | 野 口 雄 志   |
| 社外取締役    | 岡 村 邦 博   |
| 監査役 (常勤) | 城 戸 重 信   |
| 社外監査役    | 平 山 雅 之   |
| 社外監査役    | 大 串 秀 文   |
| 副社長執行役員  | 遠 藤 直 人   |
| 常務執行役員   | 四 條 満     |
| 常務執行役員   | 石 田 聡 子   |
| 執行役員     | 玉 井 裕 治   |
| 執行役員     | 大 久 保 誠 二 |
| 執行役員     | 川 畑 洋 志   |
| 執行役員     | 竹 原 正 治   |

## 当社のホームページ



## 当社のIRページ

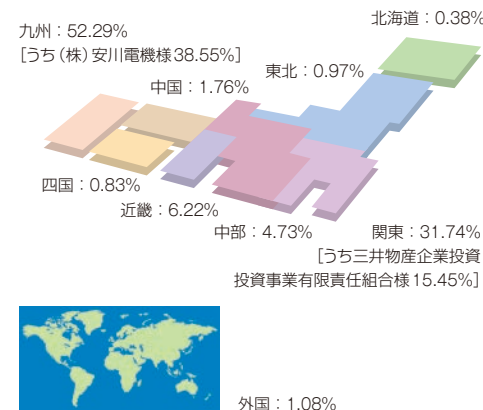
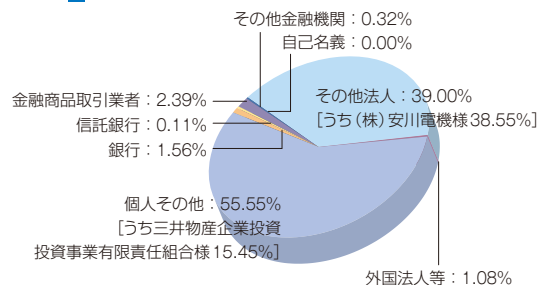


# 株主情報

## 株式の状況 (2017年9月20日現在)

株式の総数 : 64,000,000株  
 発行済株式の総数 : 18,004,300株  
 株主数 : 6,980名

## 株式数の分布状況 (2017年9月20日現在)



## 株主メモ

|                        |                                                                                                                                                             |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                   | 3月1日～翌年2月末日                                                                                                                                                 |
| 期末配当金受領株主<br>確定日       | 2月末日                                                                                                                                                        |
| 中間配当金受領株主<br>確定日       | 8月31日<br>(2017年度は9月20日)                                                                                                                                     |
| 定時株主総会                 | 毎年5月                                                                                                                                                        |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                               |
| 同 連 絡 先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>0120-232-711 (通話料無料)<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                           |
| 上 場 取 引 所              | 東京証券取引所                                                                                                                                                     |
| 公 告 の 方 法              | 電子公告により行う<br>公告掲載URL<br><a href="http://www.ysknet.co.jp">http://www.ysknet.co.jp</a><br>(ただし、電子公告によることが出来ない<br>事故、その他のやむを得ない事由が生じた<br>ときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

(注) 当社グループは決算期を3月1日から2月末日までに変更いたしました。なお、決算期変更の経過期間となる第41期(2017年度)は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなります。

## <お知らせ>

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.ysknet.co.jp>